

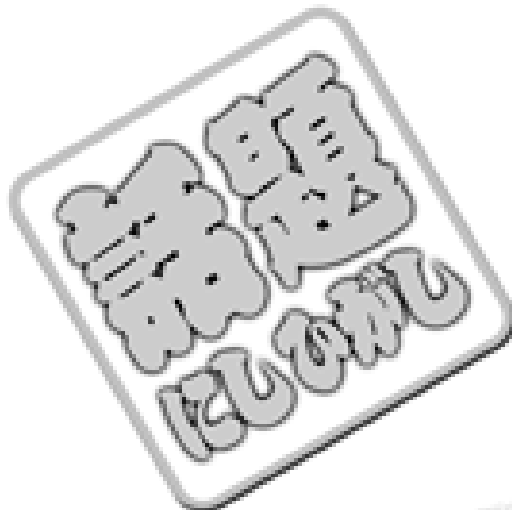
おいしい！もっと食べた～い

11月6日（月）、道の駅「鶴の里あるじゃ」（一戸明彦駅長）が町特産品のスチューベン（ブドウ）を使用した大福餅を、農業活性化組合幡籠（三上孝生組合長）は皮にスチューベンを練り込んだ餃子を、町内の全11か所の保育所などへ無償提供してくれました。

この無償提供は、子どもたちに町特産品に親しみを持ってもらいたいと言う願いと日ごろの感謝の意を込めて行っているもので、スチューベンの大福餅は今年で4回目、餃子は初めての提供になります。一戸明彦駅長は「みんなでおいしく食べてください」と鶴田中央保育所代表の児童たちに贈呈しました。児童たちはお昼時間に餃子をおやつの時間には大福餅をおいしそうに食べていました。



△スチューベン餃子をほおぼる中央保育所の年長組



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを
役場企画課広報国際係までどしどしお知らせ
ください。（☎22-2111 内線264）

119番の日役場避難訓練

11月9日（木）、町役場で「119番の日」と「秋の全国火災運動」にちなみ避難訓練を行いました。

午後2時の火災発生のアナウンスと同時に、職員は事前に決められていた役割ごとに来庁者の避難誘導を行ったり、人員の確認などを速やかに行き、役場前の広場に避難しました。

避難訓練の後には国際交流会館で、消防職員から消化器と消火栓の仕組みと使用方法を学びました。役場は毎日多くの町民が来庁する場所ですので、いざという時のために職員たちは真剣に訓練をしていました。



△最後にはAED（自動体外式除細動器）の使用方法も学びました

100歳を祝いゴールドメダル

11月11日（土）、西村フミさん（明治39年11月11日生まれ）がめでたく100歳のお誕生日を迎え、中野町長からお祝いのゴールドメダルが授与されました。

当町では平成4年4月から、満95歳以上の方に祝状と毎月2万円の祝金を支給し、さらに満100歳に達した方にはゴールドメダルを授与しています。西村さんは12人目のゴールドメダリストとなり、現在西村さんを含め町には100歳以上の方が3人いらっしゃいます。

長男の正城さんは「これまで生きてくれて嬉しい。母方は長生きの家系なんですよ」と喜びの言葉を話してくれました。



△長男夫婦と義理の息子さんに囲まれて自宅で記念の一枚



△リンゴを提供してくれたみどりの会のみなさん

給食へふじ40ケース提供

11月17日（金）、町の農業後継者団体である鶴田町みどりの会（藤田英樹会長）が、学校給食用にと約40ケースの無袋ふじを無償で提供してくれました。

鶴田町みどりの会は現在32人で活動しており、会員が2箱ずつ持ち寄り提供をしてくれました。昨年に引き続き今回が二回目の提供となります。

藤田英樹会長は「去年子どもたちの反響が良かったと聞いていたので、今年も提供することができて嬉しく思っています」と笑顔で話してくれました。これからの給食にみどりの会のリンゴが出ますので楽しみに待っていてください。

松山さんに人命救助の感謝状

11月22日（水）、五所川原警察署（福井久男署長）で、胡桃館の会社員松山周平さんに、五所川原警察署長感謝状が贈呈されました。

松山さんは11月1日胡桃館の路上で、自転車で行中高齢者が転倒し負傷しているのを発見。直ちに病院へ搬送するなどの救護措置をとり人命救助を行いました。その善行が認められ今回の表彰となりました。

松山さんは「通りかかったときに額から血を流していたのでびっくりして、自分の車で病院まで連れて行きました。当たり前のことをしたのに感謝状をいただいて、驚きとともにとっても嬉しいです」と話してくれました。



△私たちが松山さんのような行動ができるように見習いたいものです